

The Japan Association of Chinese Language Education

中国語教育学会会報

第43号(通巻68号) 2015年5月9日発行

〒156-8550

東京都世田谷区桜上水3-25-40

日本大学文理学部中国語中国語文化学科内
中国語教育学会

Website <http://www.jacle.org/>

Email headoffice@jacle.org

郵便振替口座 00110-1-191152

目次

- 一．会長挨拶
- 二．『中国語教育』第13号発行について
- 三．第13回全国大会プログラム
- 四．研究会について
- 五．会員動向
- 六．事務局からのお願い
- 七．資料等の受領について

一．会長挨拶

私が本学会会長を拝命して2年度目を迎えました。

昨年度の挨拶の中で中国語学習者の減少について悲観的なことを申しましたが、今年度に入って、大学の第二外国語の中国語履修者数が若干回復の兆しを見せたり、NHK講座のテキストの売行きが好調である等、嬉しい話も耳にするようになりました。もちろん政治的環境等、等閑視できない問題も数多く残されており、決して楽観を許す状況ではありませんが、中国語教育にとってこの2、3年が正念場になるものと考え、改めて気を引締めていかなければならないと感じております。今年度も会員各位の一層の御助力と御鞭撻をお願い申し上げる次第です。

二．『中国語教育』第13号発行について

本学会誌『中国語教育』第13号が無事発行され、去る3月28日に会員各位宛に発送致しました。今号は掲載論文等も増え、また従来より紙質をよくした(厚くした)ため、印刷・製本費が当初予算よりかなり高くなりましたが、3月31日クロネコメール便の廃止の前に送ることができましたので、送料がそれほどかからずに済みました(1通当たり¥164)。

佐々木勲人編集委員長をはじめ、タイトな発行スケジュールの中で編集の労をおとりいただいた編集委員の各先生方に改めて御礼申し上げます。

三．第13回全国大会プログラム

本年6月6日(土)、7日(日)の両日、龍谷大学深草学舎(京都市伏見区深草塚本町67)において、本会第13回全国大会が以下の通り開催されます。各位奮って御参加下さい。

6月6日(土) 受付：22号館1階ロビー 休憩室（兼荷物預かり）22-107
 書店等：22-104, 105, 106 （以上両日とも）

9:30～10:30	編集委員会（22号館4階会議室）	
10:30～12:50	理事会（22号館4階会議室）	
12:30～	受付	
13:00～13:20	開会式（22号館101教室）	
	会長挨拶（平井和之・日本大学）	
	開催校挨拶	
13:20～16:20	講演会（22号館101教室）	司会：清原 文代（大阪府立大学）
13:20～14:20	招待講演『日本語から見た中国語の文法とコミュニケーション』	
	講師：井上 優（麗澤大学）	
14:20～14:30	質問紙回収（兼休憩）	
14:30～15:30	特別講演『中国語教材における文化とコミュニケーション』	
	講師：村上 公一（早稲田大学）	
15:30～15:45	質問紙回収（兼休憩）	
15:45～16:15	質疑応答	
16:20～17:50	会員総会（22号館101教室）	
18:00～20:00	懇親会（22号館地下2階食堂）	

6月7日(日) 研究発表（分科会） 受付：9:00～ 22号館1階ロビー（7日から参加の方のみ）

	第1会場（22-102）	第2会場（22-103）
9:30～10:00	王峰（大阪大学・院） 日本学生初中级阶段逗号和句号使用情况的调查与分析	張文青（立命館アジア太平洋大学） 被动句的认知、语用及对外汉语教学
10:00～10:30	張恒悦（大阪大学） 表示起点的“从”与“から” 兼谈其差异引起的偏误 以上司会：史彤嵐（龍谷大学）	丁雷（島根大学・非） 姓名、数字、拼音 日本大学2 外汉语课程中应该引起足够重视的教学要素 以上司会：劉虹（龍谷大学）
10:40～11:10	石井 友美（日本女子大学・非） 意志表現としての“想”と“愿意”	木子 香（大阪電気通信大学） 《桌游学汉语》
11:10～11:40	岡原 嗣春（大阪産業大学・非） 単口相声における主/客観的事態把握と抽象的思考能力向上の可能性	清原 文代（大阪府立大学） 神谷 健一（大阪工業大学） データベースソフトを利用した教材提示・作成用ツールの開発

11:40～12:10	小川 典子（大阪大学・院） 大学入試センター試験「中国語」における内容的妥当性の検証 以上司会：山田 眞一（富山大学）	張彤（上智大学） 「中国語で自分の世界を広げよう」の試み その二 以上司会：中西 千香（愛知県立大学）
13:20～13:50	石川 薫（大東文化大学・院） 岡本正文の『支那笑話集』と矢野藤助の『支那笑話新編』について	鈴木 慶夏（釧路公立大学） ライティング支援としての“i+1”
13:50～14:20	板垣 友子（杏林大学・非） 中国語教本に見る呼称表現 近代から現代へ 以上司会：加藤 晴子（東京外国語大学）	松本 洋子（外務省研修所・非） 日本語母語話者の中国語音節間の不適切な同化作用について 以上司会：丸尾 誠（名古屋大学）
14:30～15:00	巖馥（慶應義塾大学・非） 日中同形語の音訓対応関係と意味特徴 “狗・犬”と「イヌ・ケン」を中心に	橋本 愛（九州国際大学） 文化・グローバル社会領域から言語領域につなげる授業を目指して
15:00～15:30	陶琳（金沢大学・研） 第二外国語としての中国語とドイツ語に関する学習意識調査の対照研究 以上司会：白銀 志栄（神田外語大学）	藤田 昌志（三重大学） 漢語独白文について 日本語教育の援用 以上司会：氷野 善寛（関西大学）

参加方法

1)事前申込（会員のみ）

ご出席の方は、先に大会案内とともにお送りしました払込用紙の必要項目にチェックを入れ、お近くの郵便局から5月22日(金)までに合計金額をお振り込み下さい。（事務処理の都合上、5月25日(月)には口座を閉鎖いたします。）

（払込先）口座番号：00930-3-173621

加入者名：中国語教育学会第13回全国大会準備委員会

大会参加費：¥2500（予稿集代を含む）

いずれか一日のみのご参加、両日共のご参加でも同額です。

懇親会参加費：¥4000

二日目昼食：¥1000 弁当（お茶つき） 事前申込のみ。

学内の食堂・店舗とも日曜定休です。また、本学周辺の飲食店も日曜定休が多いため、弁当の事前申込か昼食のご持参をおすすめします。

2)当日参加（会員・非会員とも）

大会参加費：¥3000（予稿集代を含む）

懇親会参加費：¥4500

お願い

- ・ホテル等の手配はいたしておりません。宿泊を要する方は、早めにはホテルをご予約になることをお勧めいたします（既に満室のホテルも多いようです）。京都市内でホテルが取れない場合、宇治市内や大阪府内の京阪電車沿線（枚方市駅、寝屋川市駅など）まで足を伸ばすか滋賀県大津市、草津市まで視野に入れると部屋が取りやすくなります。また、京都市内には大学生協組合員限定のホテルもございます。
- ・自動車での来校はご遠慮ください。また館内は全館禁煙となっております。
- ・荷物のお預かりは、6日は12:30から会員総会終了（18:00）まで、7日は9:00から15:30まで、22-107（休憩室）にて承ります。貴重品の管理はご自身でお願いします。
- ・研究発表の1発表あたりの持ち時間は、発表時間20分、質疑応答10分です。司会・発表の方は、早めに会場にお入りいただき、スタッフにお名前をお知らせ下さい。

四．研究会について

1. 2014年度第6回研究会

2015年3月7日(土)大阪府立大学中百舌鳥キャンパスにおいて、2014年度第6回研究会「ワークショップ：中国語の反転授業に使えるデジタル教材を作る」が、清原文代会員（大阪府立大学）を講師に迎えて開催されました。参加には事前登録が必要でしたが、13名（登録後キャンセルが4名あった）の参加者がありました（内非会員8名）。なお、このワークショップは、科研費課題番号26370680（代表者：木村修平）、25370642（代表者：清原文代）の補助を受けました。

ワークショップ要旨：

反転授業とは、従来の授業方法、すなわち教室で講義を聞く 家で宿題として応用課題をするという順番をひっくり返し、家であらかじめビデオ教材などで講義を視聴する 教室では教員の援助のもと応用課題に取り組む、クラスメートとの討論やグループ学習などを行うという手法である。

テーマが反転授業であるので、ワークショップ自身も反転授業形式とした。予習用の教材として、Quizlet（<http://quizlet.com>）とShowMe（<http://www.showme.com>）の操作画面に説明のナレーションを入れた動画計28本（1本当たり1分弱～6分余り）を作成し、YouTubeに限定公開でアップロードした。

3週間前に参加者登録を締め切り、参加者メーリングリストを作成し、当日まで予習用の動画のURLと説明をメーリングリストを通じて配信し、予習を促した。

当日は講師と補助者によるチュータリングを中心に、以下の二つについてデジタル教材を作成するための具体的な方法を学び、さらに授業での利用法について、参加者による討論や発表を行った。

- ・単語学習：Quizletを使用し、単語を憶えるための反復練習を援助するデジタル教材を作る。
- ・文法の説明：ShowMeを使用し、板書と音声同期した動画教材を作る。

2. 第1回研究会

2015年6月27日(土)日本大学文理学部(東京都世田谷区桜上水3-25-40)3号館4階3408教室において、今年度第1回研究会が開催されます。発表者と発表題目は以下の通りです。

- ・ 樂大維(拓殖大学・非)：台湾中国語と台湾語教育の実践 社会人の授業を中心に
- ・ 藤本澄江(日本大学・院)：“这”と“这个”について

3. 第2回研究会

2015年7月18日(土)近江町交流プラザ(石川県金沢市青草町88番地、近江町いちば館4階)研修室1・2において、第2回研究会「レアリアのツボ、レアリアのちから ~レアリアで学ぶ、教える中国語のために~第3弾」が以下の通り開催されます。参加には事前登録(<https://ssl.kokucheeese.com/event/entry/285321/>)が必要です(定員50名、先着順)。なお、本研究は科研費基盤研究(C)「中国語教育におけるレアリアの効果的活用」(課題番号25370639)の助成を受けています。

中国語を学ぶ、教える際に何を使いますか?そのツールとして、レアリアを使っての中国語学習・中国語教育を提案します。これらには、語彙・語構造から、フレーズ、文、中国語圏の小さな文化まで、中国・中国語を知るヒントが多く隠れています。

2013年は、中国語を学ぶ、教える上でのレアリアの価値を紹介しました。2014年は、実際にレアリアを使った模擬授業をしました。今年もレアリアの最新事情と実際の授業例を公開し、模擬授業の後、授業についての議論をしたいと思います。

13:15~	会の主旨説明	中西千香(愛知県立大学)
13:20~13:50	レアリアは書きことばの世界	荒川清秀(愛知大学)
13:50~14:20	日本漫画中国語翻訳版の教材的価値 ~何がどのようにどこまで使えるか~	明木茂夫(中京大学)
14:20~14:50	初級クラスでレアリアをどう活用するか 食品パッケージと料理のレシピを中心に	植村麻紀子(神田外語大学)
15:00~16:00	模擬授業(2クラスに分かれます。A:初級向け、B:中級向け)	
	A:買い物の場面からレアリアの導入 ~ワークシートで学びを進める	中西千香(愛知県立大学)
	B:ニュース記事で中国語 書きことばを読んで、話し言葉で伝える	塩山正純(愛知大学)
16:10~16:40	各授業についての討論	

五. 会員動向

1. 新入会員

2015年5月8日現在の会員数は476名(内名誉会員19名、住所不明者3名)です。なお、会報第42号発行時(2015年3月3日)以降の新入会員は以下の通りです。

遠藤佳代子(中央大学・院) / 星野勝樹(埼玉県立伊奈学園総合高等学校) / 翟高燕(慶應義塾)

大学・非) / 羅華 (立命館アジア太平洋大学) / 加藤浩志 (編集者) / 劉羸 (神奈川大学) / 郝静 (お茶の水女子大学・院) / 河野哲広 (中央大学・非) / 高橋未来 (東京学芸大学・非)

2. 退会者

2014年度をもって以下の方々が退会されました。

飯泉彰裕 / 近藤和夫 / 郭茵 / 森本雄心 / 長江春子

3. 名誉会員

昨2014年度の会員総会にて、今年度からの名誉会員として承認された以下の会員が新たに名誉会員になります。

岡田文之助 / 山口和子 / 山本真味 / 西牧義江

4. 訃報

金丸邦三名誉会員 (東京外国語大学名誉教授) が2015年4月23日御病気のため81歳でお亡くなりになりました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、本会をはじめ、我が国の中国語教育への御貢献に改めて感謝致します。

六. 事務局からのお願い

1. 会費納入のお願い

2015年度までの会費納入用の振替用紙を同封致しましたので納入に御協力願います。万一行違いで納入済みの場合は御容赦下さい。なお、請求額が¥15000の方は大至急納入下さい。

2. 住所不明者

現在、以下の方々の住所等が不明です。御存知の方は事務局宛お知らせ下さい。

宗曉蓮 / 孫珊珊 / 鄭立民

3. メールアドレス連絡のお願い

現在、事務局では以下の会員のメールアドレスを把握しておりません。該当の方は本会ウェブサイト「登録情報変更届」により、メールアドレスを事務局宛御連絡下さい。

000002、000007、000019、000033、000045、000047、000053、000056、000057、000058、000069、000075、000081、000082、000094、000096、000097、000101、000107、000138、000157、000170、000173、000175、000180、000192、000204、000221、000223、000263、000276、000293、000325、000373、000377、000378、000396、000468、000505、000514、000521、000530、000539、000593

4. 「日本学術会議協力学術研究団体」加盟申請について

既に報告の通り、昨年8月に日本学術会議協力学術研究団体への加盟申請を致しましたが、2014年度内には申請可否についての連絡がありませんでした。

七. 資料等の受領について

1. 第60回国際東方学会議案内

一般財団法人 東方学会様より、第60回国際東方学会議 (2015年5月15日 東京会議、2015年5月23日 関西部会) の案内を御送付いただき、その概要を本会ウェブサイトに掲載しました。